

恋するオトナ

溝手 真一郎 36 歳

恋愛日(期間)

2016年11月3日～11月7日  
※恋愛休暇は原則《月/1回》のため有給休暇含む

恋愛プラン

ディズニーランド&シー。  
10年の時をこえ、恋愛は、家族愛へ。

当日の恋愛事情

ディズニーランド&シーの魅力なんぞ、  
言わずもなだろ。語るまでもない。

思い返せば過去、最後にいったのは10数年前。  
彼女(現嫁)といったその頃、まさに僕は“恋愛中”だった。

ランド&シーでの恋愛は、10数年の時を経て、現在へ。  
いつしか“家族愛”へ。

そこでいま、僕は何を感じるのだろう。  
「楽しい」というのは、相も変わらないことで当たり前のこと。  
あの頃と決定的に違うのは、いったいなんなのだろう。

それは、間違いなく、「楽しい」という気持ちとは裏腹に、  
「疲労」というものが倍以上になったということだ。  
あの頃は、「楽しい」が圧倒的にまさった。

10数年来の体力低下に伴うように、  
小さなオスの生物が2体も増えたのだ。  
空気なぞ読まずに、いつだって抱っこをせがむチビと  
そのチビのわがままに腹を立てる兄。

夢の国なのに、兄弟喧嘩や親のお叱りに  
泣いたりわめいたりする。  
頼むから夢の国に来た時くらい、ええコにしてください!  
というわけにもいかないし、そうはならない。  
下の子と同年くらいの、お母さんに手を引かれ歩いている  
女の子が不思議そうにこちらを眺めている。  
そうさね、あの子はええ子にしておくことの得をすでにわかっているんだね。  
いいんだよ。君もたまにはわがままを親にぶつけて困らせりゃいいんだよ。  
我慢は体に毒だよ!手のかかる子ほどカワイイというじゃないか。

この人ごみの中、近所の公園に行くのとはわけが違う。  
おそらく、子供のストレスもいつもの倍以上なのだろう。

もはや、夢の国だろうとなんだらうと、  
楽しいだけのはずがないのだ。  
“家族愛”とは、そういうものの上にあるのだろう。



おじいちゃんもいっしょ  
って、ウソだよ〜



ミッキー型のつりかわい  
かわい〜



恋愛のあと味

どんなに疲れることがわかっていても、  
またいずれ、再び味わいたいものだ。  
どんな人も笑顔にしてしまう、ディズニーの魔法を。

